



OKAYAMA Y'S MEN

NO.4

OCT
2024



ALEXANDER
SCHOLARSHIP
FUND



CONTENTS

PAGE 3

私とYMCA

9月に入会してくださった中原永美子さんが、書いてくださいました

PAGE 4-5

9月例会報告

瀬戸山陰部の公式行事EMCシンポジウムとして実施した9月例会、新たな仲間の入会式もありました。

PAGE 6-7

韓国晋YMCA・ワイズ訪問記

韓国YMCA連盟結成110周年式典し出席に合わせて、佐藤・太田・有安が晋州のYMCAとワイズを訪問しました。

PAGE 8

わたしと「虎に翼」

大評判となったNHKの朝ドラについて河田さんの渾身のエッセイです。

PAGE 9

YMCAニュース

クラウドファンディングへのご協力のご案内です。

PAGE 10-11

今後の予定

10月例会に加えて、部会やYYYフォーラムなど、意義深く、楽しい集まりがいっぱい

PAGE 12-13

9月第1例会議事録

9月第1例会の議事録です。

PAGE 14

のぶちゃんの聖書のお話

YMCAせとうちの協力牧師である延藤好英さんのエッセイ。第2回は「一元に生きる」です。

私とYMCA 新入会者 中原永美子

22歳となった娘が小学生の時、息子と供にYMCAせとうちのサマーキャンプに参加させていただいたのが、YMCAせとうち様との最初の出会いでした。

あれから12年が経ち、私は岡山駅近辺で障がいのある青年たちが通う自立訓練（生活訓練）と就労移行支援の事業所「福祉型専攻科Palja（パルジャ）」を運営し、日々支援員として10代や20代の若者たちと楽しく活動をしています。

Paljaとは、和歌山県在住の保護者の方が命名してくださいました。Palは「友達」 jaは岡山弁の「じゃ」 そんなPaljaが誕生して10年が経ちます。障害のある、発達が気になる青年たちと作る「学びの場」 学校を卒業したけど、生活や仕事のことをもっと学びたい！ 社会に出たけど、仕事がうまく続かない、大人として人生を豊かに生きるために学び直したい！ そんな「時間」を「なかま」と共に過ごせる「場所」です。健常者であれば、大学や専門学校で学び、そして社会に出ていくようなイメージで、4年間で自立に向けて、社会生活を送るために必要な知識やスキル、コミュニケーション能力の向上、自己理解、障害理解を図るため、日々さまざまなプログラムに取り組んでいます。



4年目にはご本人に合った幸せに過ごせる進路先を見つけ、卒業後は福祉事業所や一般企業に就職して、広い社会に羽ばたいていきます。障がいがあってもなくて、人生で一番楽しい時期を仲間と共に楽しく過ごせるよう、青春を謳歌できるよう、スタッフと共に支援員として頑張っています。

2年ほど前に、YMCAせとうちの理事でありミュージシャンである佐藤さんにお会いする機会をいただきました。知的や発達に障がいがあっても音楽を本格的に学びたい人はたくさんいる、障がい者の余暇活動の幅を広げるためにも、音楽を通して人として成長できる場をぜひ岡山にも創ってほしいという思いに共感していただき、障がい者のグループレッスンの立ち上げにご尽力いただきました。今ではみんな毎月のレッスンに楽しく通いながら、ゆっくりではありますが上達していることを褒めてもらい、それぞれの自信につながっているようです。

その後、代表理事の太田さんには事業所に見学にも来ていただき、障がい者のおかれている現状やPaljaの活動についてご理解いただき、広報活動にご協力いただいています。太田さんとのお話の中で、YMCAのポジティブネットのある社会を創ることに大いに感銘を受けました。そして、私もPaljaの支援員という仕事だけでなく、もう少し広い分野で何かできることがあるのではないかと考えるようになりました。第2例会の勉強会では、それまでニュースでしか知らなかったことを世界規模で深く学ぶことができたり、新しい情報やいろんな方の考えや意見に触れることができ、私自身一人の人間としての成長を感じることができました。

どんな人にも幸せになる機会が与えられるべきであり、お互いに認め合い、高め合えるような環境を整え実践するためにできることから始めたいとの思いで、ワイズメンズクラブに入会させていただきました。これから皆様と共に活動できることに幸せを感じております。

ちなみに、娘と息子は当時の記憶は曖昧ですが、ワイズメンズクラブで活動することをとても応援してくれています。

どうぞよろしくお願いいたします。

9月第2例会報告

と き：9月17日（火） 19時～20時40分

ところ：ミュージックバー OMS

出席者：リアル ワイズ 20名・ゲスト 2名・講師 1名 合計：24名

遠隔地 ワイズ 16名（姫路・姫路G・米子・大阪なかのしま・長浜）

総合計 40名

ワイズメンズクラブ西日本区瀬戸山陰部EMCシンポジウム

「持続可能なワイズ運営を目指して～認知・理解・共感・参画の100%促進で前進を」

講演者：清水真一さん 大阪茨木ワイズメンズクラブ

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区 EMC事業主任



○9月例会実施の背景

ワイズメンズクラブやYMCAには、横文字が多いので、とっつきにくい、そんな言葉をよくお聴きします。大変申し訳ありません、十分にうまく翻訳してお伝えしきれていない執行部の力不足を感じます。

では、今回テーマに掲げているEMCとは何なのでしょう？以下にその意味を記します。

E = Extention (クラブ数の増加)

M = Membership (会員数の増加)

C = Conservation (会員の育ちの支援)

EMCは、上記のように規定されるが、忘れてならないのが、なんのためのEMCなのかということである。EMCは手段ではあるが、目的ではない。では、目的は何なのか？それは、誰もが生き生きと活動できる場を作り、新たな人と出会い、ともに育ち合い、その場所がより良いものであるため、よのなかに広がることであろう。その結果、その場所は自ずと持続可能になるはずである。

以下にかつて熊本クラブの会長であった今村格さんの示唆に富んだ文章を引用する。

ここから・・・・・・・・・・・・・・・・

現在の西日本区全体の課題は、EMCへの取組であることは論を待たない。西日本区を挙げてその取組が模索され各部・各クラブへと、その方針に沿った行動が求められている。

ある会合で聞いたその方針を端的に示す、「ワイズメンズクラブは、仲良しクラブでは駄目だ」という言葉が気になった。アメリカ合衆国の社会学者である「レイ・オールデンバーク(Ray Oldenburg)」は、1989年に著書

「The Great Good Place」にて、「サード・プレイス(第3の場所・the third place)」を都市の魅力を高める概念として提唱し、その中で、「サード・プレイス」の概念をおおよそ次のように述べている。

効率化が求められる都市には都市居住者にとって生活上欠かせない「二つの居場所」に加え、居心地の良い三番目の場所「サード・プレイス」が

必要であり、「サード・プレイス」の存在が都市生活の魅力を大きく左右する。生活上欠かせない「二つの居場所」とは、ファースト・プレイス(第一の居場所)である「家」、セカンド・プレイス(第二の居場所)である「学校や職場」である。ここで敢えて「都市」と限定したのは、「田舎」にはもともと随所に「サード・プレイス」が存在し、その魅力が都市居住者の「田舎暮らし」に対する憧れとなっているものと考えられるからである。

「サード・プレイス」は、義務や必要性に縛られるのではなく、自らの心に従い、進んで向かう場所だ。趣味を楽しんだり、息抜きをしたり出来る心安らぐ居場所で、その場所は人により千差万別である。例えば、一人で通うお気に入りの静かなカフェ、趣味を共有できる仲間たち、一緒に体を動かすグループなどもそう。

私が懸念するのは、最近のEMC活動が、ワイズメンズクラブを「サード・プレイス」としてでは無く、「セカンド・プレイス」にしようとするものではないかということである。ワイズメンズクラブは個人にとっては「生業」ではなく、また生業の為の目的を果たす場でもない。将にここで言うところの「サード・プレイス」であるという認識に立ったEMC活動が求められる。ここまで・・・・・・・・・・・・・・・・

瀬戸山陰部が今後何のために「仲間を増やしていく」のか。そのことをまずそれぞれが考えることの大切さを思った例会でした。

ちなみに今回新たな仲間が与えられ、大変うれしいときでしたので、公式に2次会を設定し、終了後はワイワイガヤガヤとても楽しく過ごすことができました。飛び入りでご参加いただいていた2名の牧師さんたちの生演奏もあり、暑い夏が更に熱くなった例会でした。西日本区理事とEMC主任も大変エンジョイされており、最後は締めめのラーメンも堪能していただきました。忘れられない岡山ナイトでした。

韓国YMCA・ワイズ訪問記

太田直宏・佐藤郁也・有安紀

今回は、3つの目的をもった訪韓でした。

目的 すべての目的を達成できました。大変有意義な訪韓でした。
みなさんのご支援とお祈りに心より感謝しています。

- 1) 韓国YMCA連盟結成110周年記念式典に参加し、
同時に開催される韓日YMCA連絡会（隔年開催）に出席する。
- 2) パートナーである晋州YMCAを訪問し、
休止しているピーストライアングル交流会（晋州・彰化・せとうち）を再開する。
- 3) 晋州ワイズの動向を探り、彰化ワイズメンズクラブ発足の足がかりをつくる。

行程

- 9月 8日 岡山空港よりインチョン空港（ソウル）に出発（1時間30分）
ホテルに移動後、ソウルYMCAスタッフによる歓迎夕食会参加
- 9月 9日 朝食後、韓国YMCA連盟訪問
日本側参加者によるランチミーティング開催
韓日YMCA連絡会出席
参加している韓国各YMCAのみなさんとの夕食会
- 9月10日 韓国YMCA連盟110周年記念式典に参加、昼食会出席
晋州YMCA総主事、通訳（総主事の娘さん）とソウル市内見学・夕食会
- 9月11日 日本参加者による評価朝食会後、高速バスにて晋州に移動（4時間）
ホテルに到着後昼食（晋州名物の川うなぎ）、YMCA見学
慰安婦像前にて晋州市の歴史を学ぶ
晋州YMCA理事役員会に出席し、互いの情報交換、公式メッセージ伝達
歓迎夕食会出席
- 9月12日 晋州城、歴史記念博物館見学（日本に対する抵抗の歴史学習）
昼食後、市内見学。バスにて釜山に移動。
- 9月13日 関釜フェリーにて帰国（21時出港、7時到着）、小倉より新幹線で帰岡





トピックス

- ・山本同盟会長のご挨拶が素晴らしく、大変感銘を受けた。
韓国側の受け止めも大変好意的であった。
- ・韓国YMCAが東アジア全体の平和構築を構想しており、中国やロシアのYMCAが式典に参加していたことに当初戸惑いました。しかしながら、交流を深める中で国の想いとは違う「市民レベルの平和構築」がいかに大切であるかを改めて認識しました。
- ・翻訳機の精度が急速に高まっており、理解の度合いが格段に進歩しました。
韓国のみならず、ロシア、中国の方とも通訳が可能で、今後の交流にさまざまな可能性を感じました。
- ・今回初訪韓だった佐藤さんが、韓国料理に感動し、はまってしまいました。
- ・佐藤、有安両名とも楽器が弾けたことで、簡単に言葉の壁を乗り越えることができ、友好が深まりました。ストリートピアノ、公式訪問会での演奏のみならず、夜の交流会での演奏は大いに盛り上がりしました。
- ・晋州市は、韓国でも有数の風光明媚な街ですが、秀吉の朝鮮出兵時代からの日本抵抗の拠点でもあります。その都市にあるYMCAと交流を深めるためにも、われわれの歴史学習が今後とも不可欠になると思います。
- ・晋州YMCAが展開しているSDGsの活動や、市民力向上プログラム、ユースの参画には大いに学ぶべきだと感じています。
- ・ワイズメンズクラブは2つあり、ひとつのクラブはYMCA会館内にワイズルームを持っているほど関係は良好です。次回の熊本でのアジア大会に参加するそうです。
- ・彰化が行う12月8日のコンサートに合わせてピーストライアングル復活させます。

コロナにより長らく交流が難しく、晋州YMCAの内容や人事も大きく変化していましたが、今回の交流で大きく距離が縮まり、以下の事柄を今後進めていく合意を得ました。以下の事柄を今後進めていく合意を得ました。

- 1) ピーストライアングル会議を復活し、継続する。
 - 2) ワンピースキャンプを復活する。来年8月に再開。開催国は日本（倉敷市自然の家）
 - 3) ユース世代（主に大学生）の交流プログラムの開始を模索する
- また彰化でのワイズ設立に合わせて、ワイズ同士の交流の可能性が考えられます。
来年の熊本での大会に合わせて何等かの出会いができるかもしれません。

わたしと「虎に翼」 弁護士 河田英正

マチベンの
リーガルアイ

河田英正
Hideyoshi Kawai



NHK朝ドラ「虎に翼」は、明治大学女子部を経て司法試験に合格し、日本初の女性弁護士となった三淵嘉子さんをモデルにしたドラマでした。私は明治大学法学部を卒業しました。義母も明治大学女子部の卒業生で、女子部時代の写真が残されていました。ニコライ堂、お茶の水橋など懐かしい御茶ノ水の光景も当初のころは頻繁に登場するなど、今回の朝ドラは、BSで観て、続いて地上波で、土曜日には1週間のまとめ編を妻といっしょに観てきました。今は、東京YMCA会館となっているYWCA会館もでてきました。虎子が大学に行く前にひと泳ぎしていたところです。プールもあった素敵な会館だったようです。甘味処「竹もと」は私は行ったことはありませんが、神田の「竹むら」がモデルです。甘いものが好きであった義母は、おそらく何度もここで過ごしていたのではないかと思います。このドラマで取り上げられていた原爆裁判、帝人事件、尊属殺をめぐる2件の大法廷判決などは業界では有名な事件でそれぞれ歴史的事実に基づくものでした。基づくというより、厳密にその判決文が再現されていたといっていると思うほどの正確さがありました。

私は、昭和41年に大学に入学し、昭和45年に卒業いたしました。そして虎子の友人桜川涼子さんが合格した昭和46年に私も司法試験に合格しました。しかし、涼子さんは同期の司法修習生にはいなかったら、彼女は司法修習を受けていなかったのです。このドラマは私と同時代を進行していたと言えます。大学紛争、激しいデモ、新宿騒乱事件、東大安田講堂事件、三島由紀夫自害事件など正に目の前で繰り広げられていました。このような映像がドラマの背景に流れることができました。

司法試験に合格し、司法修習生に採用していただいたのは桂場裁判官（石田和外）でした。しかし、青年法律家協会の

メンバーとなり、熱心に勉強会を重ねていた裁判官の左遷人事をし、青法協からの脱退の指示をだしたのは桂場裁判官でした（ブルーページと呼ばれている）。私たちの修習生活にも重苦しい空気が漂っていたのは事実です。このようなおり、法務省の少年法の改正の動きがあり、家庭裁判所、日弁連側からの反対意見があり、この時の改正作業はストップしましたが、その後何度も法務所側から改正の動きがあり、今では実名報道、少年法適用年齢の低年齢化などが実現しています。ドラマでもあったように昭和48年4月4日に尊属殺重罰規定が法の下に平等に反するという大法廷判決がありました。これは昭和25年判決を変更するものとして大きく報道されました。しかし、この法律は、刑法がカタカナ記述ではなく現代用語化される昭和63年まで、刑法の中で生きていました。昭和48年頃、法務省は処罰の拡大、刑の重罰化、保安処分の導入を内容とする刑法改正草案を法制審議会を通しました。日弁連は、これに対して大きな反対運動を起こし、尊属殺、堕胎罪を削除し、現代用語化による改正問題の決着を実現させたのです。私は、日弁連刑法改正阻止実行委員会副委員長としてこの運動に関与してきました。「虎に翼」は、私の学生時代から現在に至るまでを同時代的に描いてくれました。感動したり、反省もあったり、涙したこともあり、いろんな思いが頭の中を巡っています。虎子の一瞬の表情が豊かで良かったですね。微妙な心の動きが表現されていて、「はて？」と考えさせたり感動する場面もありました。しばらくは、この余韻にひたりながらの生活になります。



『西日本豪雨被災児童をYMCAキャンプに招待する、ため「こども希望基金」にご協力を。』

YMCAせとうち



支援総額

1,111,111円

222%

目標金額 500,000円

ネクストゴール 700,000円

👤 サポーター

100人



終了しました

2024年09月18日 23時59分 まで

募集終了

YMCAせとうちは、こども希望基金を創設し、経済的困難状況にあるこどもたちをYMCAが実施するさまざまな活動にご招待しています。この度は、2018年以来継続して実施している西日本豪雨災害支援リフレッシュキャンプへのご寄付のご報告です。

<https://setohime-ymca.org/?p=6397>

クラウドファンディングへのご協力に 心より感謝申し上げます。西日本豪雨被災児支援として Ymcaせとうちが毎年実施しているリフレッシュキャンプに、40名のこどもたちをご招待するために始めたクラウドファンディング。8月3日から9月18日まで実施し、昨日無事に終了しました。支援者のみなさんの合計数がちょうど100名というキリ番。支援金の合計は、なんと111万1111円、数字のみ表現すると、11111111円というポッキー状態となりました。忘れられない最高の結果はひとえにみなさまのご協力のおかげです。いただいた浄財をこどもたちの未来のためにしっかりと使わせていただきます。改めて、本当にありがとうございました。当初の目標額を50万円に設定していましたが、スタートから1ヶ月で目標を達成することができました。続くネクストゴールを70万円に再設定いたしましたが、こちらも終了1日前にも達成することが出来、昨日は最後の追い込みで、40万円以上の募心をいただき、終了時点で100万円を超える1111111円となりました。岡山県内はもとより、全国各地からご支援をいただきましたこと、心より感謝いたします。このため、当初40名のこどもたちをご招待することにしていたが、45名まで定員を増やすことも出来ました。このように多くの方々のご支援を基盤として、9月28～29日に実施するリフレッシュキャンプを、こどもたちにとって最高のキャンプにするため、現在着々と準備を進めています。引き続きキャンプの無事と成功をお祈りください。改めてこのたびはありがとうございました。

【実績データ】

実施期間：2024年8月3日～9月18日

当初目標：50万円（セカンドゴール70万円）

支援金額：1,111,111円（111万1111円）

支援者数：100人

24年度前期 第2例会の予定

10月例会

と き：10月15日(火)19：00～20：30
 ところ：ミュージックバーOMS
 講 師：岡本宣雄(川崎医療福祉大学講師、評議員)
 内 容：高齢化社会について考える

11月例会 瀬戸山陰部会に合流

と き：11月9日(土)10：00～17：00
 ところ：岡山教会・中心市街地・クレド岡山
 内 容：ユースチャレンジ 街の落書き消去

12月例会 クリスマス例会

と き：12月17日(火)19：00～20：30
 ところ：岡山ビューホテル (予定)
 説 教：延藤好英さん(フリーランス牧師、評議員)

1月例会 YYYフォーラム in 倉敷自然の家

と き：1月18日(土)～19日(日)
 ところ：倉敷市自然の家
 内 容：YMCAメンバーとの交流・森の手入れ

岡山ワイズメンズクラブ 10月第2例会

10月15日(火)
19:00～20:30
 会場：ミュージックバーOMS・オンライン
<https://x.gd/iOYls>
 ID: 812 9740 7884
 パスコード: 8UKxmqq

ワイズメンズクラブ・YMCA合同オンライン企画

「超高齢社会のただなかで「老い」を生きる
 一日常で経験するスピリチュアリティの観点—から考える」

高齢者に対するスピリチュアルケアはどうあるべきなのか

私たちの日本は、少子高齢化のなかで、超高齢社会を迎えています。「老い」を向えた、また、老いに向う高齢の自分自身のことを考えます。また、身近に高齢者の方がいます。わたしたちは高齢者の方々と共にどのように生きるのでしょうか。

高齢者の多くは、慢性的な病氣、心身機能、認知機能などの低下、生活課題を有し、生活に不自由さを感じています。介護を必要とする高齢者がおられます。高齢期の発達課題に「人生の統合」があり、高齢者は「健康」の確保において、生きていく意味・生きがいなど、人が有するスピリチュアルな課題に向き合います。「老いに生きる。人生の意味とは何であらうか」

「最期を迎える日まで、何を大切に、どのように生きていくのか」「年齢的に自分の死をどのように捉え、死を迎えていくのか」「人生の最期に向け、具体的にどのような準備をしておくか」これらのスピリチュアルな課題は、個別的、普遍的、かつ哲学的、宗教的な問いを含んでいます。

今回は、岡山ワイズ、YMCAせとうちのみさんと一緒に、特に、わたしたちが、日常の生活で経験するスピリチュアリティの観点から、この課題をとり、「老い」について、「生きる」として考える機会をもつことができ、たいへんよろこんでいます。どうぞよろしくお願ひします。

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 教授
 博士(医療福祉学)・社会学修士(社会福祉学)・神学修士(聖書神学)
 YMCAせとうち 評議員

岡本宣雄さん

わたしは社会福祉の働きは、人々の幸福(well-being)を生活支援の観点から支えることであると考えています。幸福は、人生で何の問題もない、固のような状態ではなく、生きづらさや生活課題を抱えている、そのただなかで、自らの価値を認めることができ、「生きる」「生かされている」喜びや感謝が実感できることにあると思います。超高齢社会を迎えた今、共にどう生きるかを考えましょう。(大学HPより)

お問合わせは、こちら だなたでも参加可能です。

TEL 086-223-1509 URL <https://setohime-ymca.org> YMCA

YMCAピーストライアングルミーティング

と き：12月6日(金)～10日(火)
 ところ：台湾 彰化市・台北市
 内 容：台湾 彰化
 韓国 晋州
 日本 せとうち
 以上、3つのYMCAで構成される
 ピーストライアングル定例会議
 彰化YMCA主催のチャリティコンサート出席
 晋州ワイズメンバーとの交流
 彰化ワイズ設立状況インタビュー

日 程： 6日 岡山空港出発・台北YMCA宿泊
 7日 台北市内見学・彰化に移動
 8日 礼拝参加・コンサート出席・晚餐
 9日 彰化市見学・交流会
 10日 空港に移動・帰国

参加費：66,000円(交通費、宿泊費等すべて込み)

対 象：YMCAせとうち会員(岡山ワイズメン)
 申込み：太田までお申し出ください(10月30日締切)

岡山～台北～彰化
 直行便で行く

**台湾彰化
 親善ツアー**

ピーストライアングル再結成
 彰化YMCAチャリティ・コンサート

12/6(FRI)～10(TUE)
66,000円/大人1名あたり

行程表

1日目 岡山…桃園空港…台北YMCA(宿泊)

2日目 台北…彰化…市内観光、公式晩餐会

3日目 日曜礼拝…教会…慈善コンサート

4日目 彰化…台北…新竹市公式訪問、夜市

5日目 台北市内観光…桃園空港…岡山空港

彰化市は昔、台湾原住民平埔族バサ族の集落「ボアソア社」があったところで、台湾語音でそれを「半線(poaN3-soaN7,ボアソア)」と発音した。諸羅県に帰属していた。後に清朝政府が「顯彰皇化」という意味を込めた「彰化」に改築した。YMCAせとうちは2013年より、韓国晋州を加えた3つのYMCAでピーストライアングルを形成中である。

公益財団法人 YMCAせとうち TEL: 086(223)1509
<https://setohime-ymca.org> スパラン YMCA Email: info@ymcaokayama.org

各部会の予定について



24年度 瀬戸山陰部会ご案内(第1報)

岡山市中心市街地 落書き一斉消去活動

Y's×SDGs Youth Action2024 協働企画

11月9日(土)

参加費：7,000円

11:00～17:30

日本基督教団岡山教会・岡山市中心市街地
TKPガーデンシティ岡山(クレド岡山4階)
*JR岡山駅よりタクシーで5分



詳しいご案内は、第2報(5月発行予定)にて。

お問い合わせは、こちら

TEL 086-223-1509

URL <https://setohime-ymca.org>



ワイズメンズクラブ瀬戸山陰部 24年度部会開催要項

日時:2024年11月9日(土)11時～17時30分

集合場所:日本基督教団 岡山教会(JR岡山駅よりタクシーで7分)

- 第1部 岡山教会 → 岡山市中心市街地 → 岡山教会
第2部 岡山教会
第3部 TKP ガーデンシティ(クレド岡山4階 岡山教会より徒歩5分)
解散 TKP ガーデンシティにて、現地解散

- 活動 第1部 Y's×SDGs Youth Action 2024 (11時～13時)
オリエンテーション、ユースとともに、落書き一斉消去活動
お弁当・休憩 (13時～14時)
第2部 記念礼拝、シンポジウム (14時～15時)
ユースによるシンポジウム「落書き消去活動の意義」
第3部 友情を深める懇親会 (15時30分～17時30分)



服装 汚れても良い服をご持参ください。帽子、靴も含めてベンキまみれになります。
*手袋、カッパはご用意します。お着替えは教会にて可能です。

持ち物 着替え、災害支援募金(任意)

交通 岡山駅からタクシー・バス・路面電車にて来てください。

参加費 7,000円(昼食弁当・懇親会費・活動費・保険料などを含みます)

申込み QRコードよりお申し込みください。締切は9月末日です。

岡山市中心市街地 落書き一斉消去活動とは?



街の落書きに、知らん顔していると...

どんどん広がっていく、青少年へ悪い影響がでる、
犯罪をまねく。
そして、街が荒れていく。

だから、気づいた人みんなで、対応する。

ニューヨークを「犯罪の街」から「家族連れにも安心な街」に変貌させる道筋をつけたことで有名なジュリアーニ氏。市長就任後に取り組んだのは「地下鉄の落書き」の一掃だった。ジュリアーニ氏には信念があった。小さな犯罪を徹底的に排除していくことで、ニューヨークは綻びを見逃さない街として生まれ変わること。初めは馬鹿にされた取り組みだったが、数年後に彼の信念は実を結び、殺人、暴行、強盗といった凶悪な犯罪が激減した。地下鉄の落書き対策が大きな成果を生んだのである。今、あなたの街は大丈夫ですか?

部	開催日	曜日	開催地・会場	ホストクラブ	案内・登録
中部	2024年9月28日	土	ホテルブラ王山	名古屋グランドパス	・
びわこ部	2024年9月8日	日	ホテルニューオウミ	滋賀蒲生野	・
京都部	2024年9月7日	土	ウェスティン都ホテル京都	京都トップス	・
阪和部	2024年9月14日	土	シティプラザ大阪	大阪サウス	・
中西部	2024年10月26日	土	ホテルクライトン新大阪	大阪西	・
六甲部	2024年11月2日	土	ホテルヒューイット甲子園	西宮	・
瀬戸山陰部	2024年11月9日	土	岡山教会 TKPガーデンシティ	岡山	・
西中国部	2024年8月31日	土	半月庵～錦川清流鵜飼船	岩国みなみ	・
九州部	2024年10月5日	土	ホテルメルパルク熊本	熊本むさし	・

9月第1例会議事録

と き：24年9月3日(火)19時30分～20時30分

ところ：YMCAせとうち事務所

出席者：石原、太田、三浦信、片山、高本、高原、白鳥、河田、坪倉、佐藤

欠席者：谷川、市川、(原)、秋山、鬼木、難波、平田、板野、三浦克、丸山、坪倉

○報告事項

①8月第2例会について 詳細はブリテン、HPにて報告。

と き：8月17日(土) 11:00~13:00

ところ：岡山信愛教会

内 容：信愛の講師と交流、保育の様子報告、平和の礼拝

食 事：サンドイッチ、アイス、バナナ

参加者：ワイズ、ファミリー・サポートステーションスタッフ5名参加。

会 費：1000円

- ・節約をし、プラス決算となり、余剰金と礼拝献金を足したものの16000円をワイズとして、リフレッシュキャンプにクラウドファンディングしました。
- ・YMCA職員はみんな喜んでいました。HPに感想を掲載中です。

②姫路グローバル8月例会

と き：8/25(日)

ところ：姫路YMCA 太子キャンプ場

参加者：長寿・石原

- ・鵜丹谷理事も来て楽しんでいた。米子：野口・福永、姫路阪田息子ほか出席。

③台湾・日本(彰化・真備平島)交流キャンプ報告

佐藤さん制作のYou Tube動画をみんなで視聴した。

<https://youtu.be/XU62gc9nsBQ?si=RSfGuaCckQkG4Xb9>

と き：2024年8月5日(月)～9日(金)

対 象：西日本豪雨で被災した児童

ところ：倉敷市自然の家

参加者：台湾 10名、日本10名

引 率：林総主事(台湾唯一の女性総主事)、ハナ(豪雨災害支援キャンプ参加者)

ワイズ：佐藤、正野、高本、長寿、高原、白鳥、太田、市川、延藤(協力牧師)、

日 程：8月5日 日本着 宿泊場所：岡山ビューホテル

8月6~8日 倉敷自然の家

8日 昼食に食事を共にし、交流を深める。(倉敷自然の家)

8月9日 帰国

- ・間もなく彰化にワイズ誕生予定。12月に台湾ツアーを企画する(晋州YMCAも合流)。

○確認、協議事項

①9月第2例会(瀬戸山陰部EMCシンポジウム)

と き：9月17日(火)19:00~20:30

形 式：EMCシンポジウム、入会式、懇親会(講師は宿泊)中身を講師と調整予定

進 行：太田、石原

ところ：OMS

講 師：清水さん(EMC主任・阪和部)

入会式：中原さん(パルジャ代表) 事前面談終了、入会キットを手配済み。

- ・終了後のその場で懇親会を実施。食料その他高原さんが手配してくださる。
- ・交通費・宿泊代は部の費用で賄う。瀬戸山陰部各クラブに今一度部長から声がけ。
- ・鵜丹谷理事リアルで参加予定。

②10月第2例会

と き：10月15日(火)19：00~20：30

進 行：高原、秋山

ところ：OMS

講 師：岡本宣雄(川崎医療福祉大学講師、評議員)

課 題：高齢化社会について考える

- ・ドライバーと講師による、事前打合せが必要。チラシは作成済み。

③瀬戸山陰部部会(11月第2例会)について

と き：11/9日 落書き消し、式典(ユースのお話)、懇親会

申込み：8月中旬より開始、オンラインによる個人エントリー

担 当：落書き消去 谷川(主査)、高原(主査) 式 典 太田(書記)、石原(会長)

懇親会 片山、高本、長壽

- ・岡山クラブ出席者 14名確定(未確定者には分担して声がけし、早期確定を目指す。
- ・瀬戸山陰部出欠 今月中にさせていただくように部長より今一度声がけをする。
- ・各担当者で相談の上、9月27日(金)19時~オンラインにて打合せ。10月例会で周知。

④2023~2024年度会計報告について

- ・別紙資料に基づき報告がなされた。合わせて監事からの高原監査報告もあった。

⑤2024~2025年度予算案について

- ・じゃがいもの金額を確定後原案作成。次月に上程する。

⑥じゃがいもファンド

- ・価格を据え置くか、値上げするか？以下、協議するための要因。
要因1：仕入れ値の上昇 54円(一箱あたり)トータル 40000円の値上げ
要因2：運賃の上昇 435,400円 → 474,900円 39,500円のコスト上昇
- ・上記要因の結果、総合計8万円の増額。
- ・各100円の値上げを提案し、承認。目標個数も合わせて以下のように決定した。
じゃがいも：2600円 550箱 かぼちゃ： 3300円 50箱
三種混合： 3300円 200箱 玉ねぎ： 2800円 50箱
- ・申込みはオンラインにて行うので、今週中にメールで配信。
- ・チラシを印刷し、配布する。

⑦YMCA秋のリフレッシュキャンプ・青山学院ハンドベルクワイヤ演奏会後援について

- ・市川担当主事より説明があり、審議の上、活動を後援し10万円を寄附すると決議した。
と き：2024年9月28日(土)~29日(日)
対 象：西日本豪雨で被災した児童 年長(5歳)、小学1~6年生(40人)
ところ：国立吉備青少年自然の家
定 員：40名 7/30現在 45名エントリー中、全員を受け入れる方向で調整中。
依 頼：クラウドファンディングを実施中なので、個人としての協力を願う。
長寿部長より他クラブへの協力依頼。
- ・現在58万円、ネクストゴールに向けて募集中。岡山クラブより、10万円寄附済み。
- ・西日本区に地域奉仕支援金として20万円を申請中。

⑧青山学院ハンドベルクワイヤ演奏会後援について

- ・活動を「後援」し、行事運営に協力。
と き：2024年9月7日(土)12時~17時
ところ：まーびーふれあいセンター小ホール
依 頼：当日配布するパンフレットへの広告出稿への協力を願う。
- ・当日タイムテーブル他、添付済み。
- ・当日手伝い可能な役員：石原・三浦信・市川・白鳥・太田・正野

のぶちゃんの「聖書のおはなし」

第2回 「一元に生きる」



「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたに望んでおられることです。」(テサロニケの信徒への手紙一5章16～18節)

こんにちは。前回の「聖書のおはなし」コーナーでは、「神さまからの贈り物」というお話をしました。「イエス・キリストが二千年前に十字架にかかって死んで復活させられたことによってわたしたちに何がもたらされたのか」という内容でした。その中で三つのこととお話しました。「すべての人の罪の完全な赦し」「尽きることの無い愛」「天国への約束」の三つでした。それらはわたしたちの過去・現在・未来に関することです。それらはすべてわたしたちが良いことをして勝ち取ったものではなく、無条件に与えられたものです。そして、そのすべては、神さまの愛に裏打ちされている、そんなお話でした。

今回は、「一元に生きる」というお話をします。これはわたしが田中信生牧師(米沢興譲教会)の主催するトータル・カウンセリング・スクール(T.C.S.)で学んだことです。この学びの中で、「聖書の福音はこのようにしてわたしたちの人生に展開されていくのだ」と知りました。「一元に生きる」ということは、過去・現在・未来が愛の神さまの御手の中に置かれていることが、自分の人生をどう変えていくのかを教えてください。普段多くの人は何気なく人生の流れのようなものを十か一で捉えています。

①今までは良かったけどこれからは厳しいぞ。つまり十から一です。歳をとっていくとだんだんそんな考えになったりします。戦争や災害、経済的な先行き不安が続くという考えが定着していきます。希望のない人生です。「②今までは悪かったけどこれからは良くなるぞ。これは一から十の考え方です。今の悪い所を洗い出して、それを良くしていくとする頑張り屋です。これはわたしたちが幼いときから身につけて来た考え方ではないでしょうか。しかし、一つの目標に達すると、その瞬間は喜んでも、また新しい目標ができて、常に成長し続けなければならない燃りのようなものに支配され、人生を喜び楽しむということが難しくなります。また、今いる足場が一なので、ぬかるみでジャンプしているようなしんどさがあります。疲れ果ててしまいます。

③今までも悪かったし、これからも良いことはない。これは一から一の捉え方です。人生に期待しない生き方です。これはある意味、楽です。自分の可能性を信じない、常に諦めている人生です。傷つくこともなければ感謝も喜びもない人生です。これも生きるための一つの知恵かもしれませんが、つまらなくないですか？

④今までも良かったし、これからも更に良くなる。これは十から十の捉え方です。これが「一元に生きる」ということです。これが、今日の聖書箇所が勧める生き方だとわたしは思います。また、過去・現在・未来が愛の神さまの御手の中にあると信じる人の捉え方だと思います。失敗や思いがけない災いの中にも神さまの愛の御手があることを信じる。悲しみの中に祝福が隠されていると信じる。そんな生き方です。

少し静まって、「自分はこの四つのパターンのどれを採用しているかな」と思いめぐらしてみてください。そして「一元に生きる」を選択するということは、自分にとってどういうことなのかと思いめぐらしてみてください。

あなたの人生が、神さまの恵みの光で、過去も現在も未来もキラキラ輝きますように。



ワイズメンズクラブ国際協会

第28回
西日本区大会

Y'S SLOGANS

岡山クラブ 会長 石原康正

○YMCAと共に楽しくワイズ活動！

Let's enjoy Y's Lives with YMCA.

瀬戸山陰部 部長 長寿和子（岡山クラブ）

○チーム瀬戸山陰 どうなるか？ではなく、どうするかを考えよう。

～さあ、動こう！ 自働・共働～

Let us not just worry about the future, but think about what we should do.

～Let's take action together with our friends in the Seto-San'in region!

西日本区 理事 鵜丹谷剛（神戸クラブ）

○つなげよう地域と世界、YMCAと共に Connecting Local to the World with YMCA

○楽しもうフェロウシップをポジティブに Enjoy positively our fellowship

アジア太平洋地域 会長 Joan Wong

○大きなインパクトを起こそう

Make a Great Impact

○大胆に、信念をもって奉仕しよう

Be Bold and Serve by Faith

国際協会 会長 Charming Shen

○太陽の輝きと笑顔

Sunshine and Smile

○簡潔さは美

Simple is Beauty



2025

6.14 sat.

SMILE. IMPACT. CONNECT.

■ 会場 ANA クラウンプラザホテル神戸

ホストクラブ：神戸クラブ・西宮クラブ・神戸西クラブ・神戸ポートクラブ・宝塚クラブ・神戸学園都市クラブ・芦屋クラブ